

日本体育・スポーツ・健康学会（JSPEHSS） 理事会通信（2024年6月3日号）

会員のみなさま

JSPEHSS 副会長の清水 紀宏です。

能登半島地震で始まった2024年は、その後、国外では長引く国際紛争の終わりが未だ見通せず、国内的には前代未聞の政治腐敗が明るみにされるなど、グッドニュースはなかなか聞こえてきません。残念ながら暗い出だしの一年ですが、会員の皆さまにおかれましては、変わらず精力的に研究・教育活動ら取り組まれていることと思います。

さて、先日5月18日に第8回理事会が開催されましたので、その審議内容を中心に恒例となりました理事会通信をお届けいたします。

議事次第は以下の URL からご覧いただくことができます。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/board-news-2>

□第74,75回学会大会について

第74回大会（福岡大学）への参加申し込み状況（5月15日現在）が報告されました。この時点では昨年よりも参加者数がかかなり多かったとのことですが、引き続き事前申込期間（8月21日）に入りますので、関係の皆様にお声掛けいただき、盛会となりますようご協力ください（早期参加登録者は1,459名 発表登録600件が最新情報です）。情報交換会（8月29日）では、和太鼓部のパフォーマンス「鼓舞猿」もご披露いただけるそうです。

第75回大会（日本体育大学／世田谷キャンパス）の組織委員会（山口香委員長）・実行委員会（関根正美委員長）から初めて理事会にご出席いただきました。会期は、2025年8月27日（水）～29日（金）の3日間とのこと。会員の皆様、スケジュールの確保をお願いいたします。

□常勤職にない若手会員に係る会費減免措置の選考が行われました。本学会では、この他にも被災会員に対する会費免除、病気療養や出産・育児、介護などによる（一時）休会制度、若手会員に対する国外学会参加補助金制度等、会員の研究活動を支援する仕組みを整備しています。各種手続きについては学会 Web サイトをご参照いただければと思いますが、そうした支援を受けた皆さまは、是非とも本学会の研究成果の蓄積に積極的にお力添えくださいますようお願いいたします。

□2024年度分の専門領域と地域協力学会への補助金配分について審議決定されました。とりわけ、地域協力学会については、若手研究者への入会促進や研究支援・交流に力を注いで事業運営をされていることを配分の際に重視しています。各地域ごとの会員拡充や会員間

交流の活性化がさら進むとともに、今後は、各地域学会間の交流を深めることも課題になるかと考えます。

□本年度の総会が6月15日(土)10時30分から開催されます。また、同日の13時より、学術連合との共催企画学術フォーラム「スポーツにおける公正と自立の同時達成はいかに可能か～スポーツ権の「これまで」と「これから」～」が開催されます。スポーツの成長産業化や部活動の地域移行政策が急ピッチで進む中、スポーツ権という視点からこうした動きを学会としてはどのように捉えたらよいのかについて議論を深めたいと考えています。参加登録は今週末までとなっておりますので、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

最後になりますが、既に、事務局から案内がありましたように、6月3日から7月3日まで、次期代議員の選挙期間となっております。この学会は今大きな転換期にあり、その運営の舵取りを担う代議員や理事・役員は、大変な重責に担う方々です。会員の皆様におかれましては、ハガキが届きましたら速やかに投票を済ませ、会員としてのささやかな責任を果たしてくださいますようお願い申し上げます。

以上